

日本語の「ちょっと」と中国語の“有点”について

謝 平

1. はじめに

日本語の「ちょっと」の品詞については、辞書によって解釈が多少異なる。例えば、『広辞苑』(第五版,岩波書店)では「ちょっと」を副詞として扱っているが、『大辞林』(第三版,三省堂)では副詞と感嘆詞の二類に分類し、感嘆詞の例として「ちょっと、あなた」のような呼びかけに使われるものを挙げている。先行研究では、「ちょっと」は副詞の中でも「小さい程度」を表す程度副詞¹に分類されている。一方、“有点”(或いは“有点儿”、“有一點儿”。本稿では一括して“有点”と記す)については、『現代汉语词典』(第五版,商务印书馆)では副詞に分類され、“表示略微、稍微”となっている。従来の先行研究においても“表示程度不深;稍微。多用于不如意”,² “程度浅”³などと定義されている。このように、“有点”と「ちょっと」にはその機能・用法においても共通点が見られ、訳出においても両者がそのまま対応することも多いが、言うまでもなく全く同じ用法というわけではない。本稿では主に共起制限において「ちょっと」と“有点”の機能を考察し、モダリティの視点から「ちょっと」と“有点”の表す程度の違いについてもあわせて考察を試みる。

¹ 日本語の程度副詞の特徴については、工藤(1983)では形容詞と組み合わせるということ以外に、「取立て助詞『は・も』などを下接しない」、「名詞述語にならない」、「修飾語を受けない」の三点を挙げており、「少し、ちょっと、多少、少々、いくらか、いささか」のような数量名詞性を持つものは例外としている。一方、中国語の程度副詞の特徴は形容詞(主に性質形容詞)、一部の心理動詞と性状を表す動詞或いはフレーズとの共起が可能であることにある。しかし、“有点淑女”、“很阿 Q”などのような“程度副詞+名詞”の使用例も見られる。

² 吕叔湘(1980:559)『現代汉语八百词』による。

³ 马真(2004:148)による。

謝 平

2. 「ちょっと」と“有点”の共起制限

2.1 「ちょっと」と共起する語

2.1.1 「ちょっと」と動詞

「ちょっと」は動作動詞と共起し、動作或いは時間が少量であることを表す。

- (1) 今朝は気分が悪かったので、朝ごはんをちょっと食べただけだ。⁴
- (2) ちょっと待ってください！

例(1)の「ちょっと」は動作の少量を表し、例(2)は時間の少量を表している。しかし、実際には動作の量であるのか、それとも時間の量であるのか、曖昧な場合も少なくない。

- (3) そしてちょっと行くと、一軒だけ離れて、そんな家がぼつちりあった。
小林多喜二「雪の夜」
- (4) 私たちの言葉は、ちょっと聞くとすべて出鱈目の放言のように聞えるでしょうが、
しさいにお調べになったら、いつでもちゃんと歯車が連結されている筈です。
太宰治「風の便り」

例(3)の「ちょっと」は距離を表す場合と時間を表す場合の二つの可能性がある。同様に、例(4)の「ちょっと」は「聞く」内容の量を表す場合もあり、時間的な長さを表す可能性もある。

「ちょっと」が非動作動詞(或いはフレーズ)と共起する場合、対象の性質や状態を描写・叙述、もしくは判断・評価する場合が多い。

- (5) 国にいる僕の弟の作人は、失礼ながら、笑い顔など、あなたにちょっと似ている
のですが…
太宰治「惜別」
- (6) その熟練と器用なやり口にもちょっと感心した。 夏目漱石「吾輩は猫である」
- (7) 見た目はピカピカしているので、普通のワックスと変わりませんが触るとちょっと
ざらざらした感触です。(Google)
- (8) ノートのミスプリあるいは書き落としで分からなくなっている人がちょっといるみたい。
(Google)

⁴ 出典のない例は作例である。

例(5)～(7)の「ちょっと」と共起する動詞はすべて非動作的なものである。また、例(8)のように、「ちょっと」は「ある」、「いる」のような「ている」がつけられない非動作動詞と共起し、対象の量を表す。

「ちょっと」が動詞と共起する場合、動詞の感情的色彩⁵において、後述の中国語の場合と異なり共起制限はみられない。例えば、例(6)の「感心する」のようなプラスの意味の語とも、その他の例のような非プラスの意味の語とも共起することがわかる。

2.1.2 「ちょっと」と形容詞

形容詞と共起する場合、日本語の「ちょっと」は対象における性質や状態の程度を描写・叙述、或いは判断・評価をする。

- (9) ドリンクは上が少し赤くて、真ん中はちょっと青くて、下のほうは黄色い感じの炭酸かかった飲み物。 (Google)
- (10) 手のひらのなかで苞の爆ぜるのを感じるのは、ちょっとくすぐったいもので、蟋蟀のように刺だらけの脛で、… 薄田泣菫「艸木虫魚」
- (11) 瞬間ちょっといやな感じだった。 徳田秋生「仮装人物」
- (12) ここに着いた時も、はじめちょっと楽しいような気分がしたけど、薄暗くなったら、もう東京がこいしくて、胸がこげるようで、気が遠くなってしまったの。
太宰治「斜陽」
- (13) 生産現場の出入り口から見た月がちょっときれいでした。 (Google)

例(9)と例(10)は好きか嫌いかという感情をいれずに、「ちょっと」を用いて対象の性質や状態の程度が「少しばかり」であることを描写している。また、例(11)～(13)は「ちょっと」を用いて、事物に対する主観的な判断や評価を下している。

上に挙げた例において、「ちょっと」と共起する語のうち、例(10)の「青い」と(11)の「くすぐったい」は中性的な意味の語であり、例(12)の「いやな」はマイナスの意味の語である。例(13)の「楽しい」と例(14)の「きれい」はプラスの意味の語である。したがって、日本語の「ちょっと」が形容詞と共起する場合、動詞と同様、感情的色彩において共起制限はないと考えられる。

⁵ 「プラスの意味の語」(積極的な意味の語)、「マイナスの意味の語」(消極的な意味の語)及び「中性的な意味の語」は主に話し手のこめた感情 (Conveying emotional overtones) によって分類されるものである。それぞれ中国語の“褒义词”、“贬义词”、“中性词”に相当する。

謝 平

2.2 “有点”と共起する語

2.1で考察したように、日本語の「ちょっと」はマイナス及び中性的意味の語と共起することができるだけでなく、プラスの意味の語とも共起する。一方、“有点”はプラスの意味の語とは共起しないと先行研究では指摘されてきた。例えば、周小兵(2002:138)は外国人に“有点”を教える際の注意点について次のように述べている(下線は引用者による)。

依据“程度副词+性质形容词”的格式，可能生成正确的句子，如“有点脏”；也可能生成错误的句子，如“有点干净”。因此，在讲解这种格式时，必须说明程度副词“有点”一般跟贬义词和中性词结合，表示说话人的不满意。这样学生才能真正习得这一句式。

周小兵(2002)も指摘するように、“有点”が特にマイナスの意味の性質形容詞(例: 貴、脏、不高兴……)と共起しやすいことは周知の事実である。しかし、実際には“有点”が性質形容詞以外の語と共起する用例も多く見られる。以下では主に“有点”と動詞、状態形容詞との共起について考察を試みる。

2.2.1 “有点”と動詞

日本語の「ちょっと」とは異なり、“有点”は動作動詞と共起することができない。⁶ つまり、“有点”は動作及び時間の少量を表すことができないことになる。

- (14) a. *有点唱歌
b. ちょっと歌う

“有点”と共起可能な動詞としては、まず心理動詞⁷が挙げられる。心理動詞は心の動き、状態を表現する動詞である。张谊生(2004:11)は、程度副詞が心理動詞と共起する理由について次のように述べている。

⁶ 王聰(1993)は“有点”と共起する動詞について、“有点儿成问题”、“有点听懂了”、“有点儿舍不得”、“有点儿吃得下了”、“有点儿令人失望”のような非動作動詞フレーズと共起すると指摘している。

⁷ 心理動詞については、范晓など(1987:57)は“爱、恨、同情、信任”などのような情緒を表す語だけでなく、“记得、联想、认为、知道、觉得”など認知を表す語についても心理動詞に分類されると指摘している。胡裕树・范晓(1995:246)はさらに“愿意、情愿、肯、要”などの意欲を表す語と“高兴、乐意、打算”などの願望を表す語を心理動詞に分類している。

心理动词表示一种抽象的形状义，表达人的主观感情态度，与一般动词表示具体的动作行为意义不同，是一种静态性质，其动作性和实践性很弱，因此与性质形容词很像，可以受程度副词的修饰。

张谊生(2004)の指摘するように心理動詞は性質形容詞と共通性があることから、程度副詞と共起することが可能であるが、“有点”については、张谊生(2004:40)も従来の先行研究と同様、“一般说来，‘有点’倾向于选择[+消极义]的成分”と指摘している。しかし、実際には、[+消极义]以外の心理動詞であっても“有点”と共起することは可能である。

- (15) 她有点惶惑，有点惊喜，更多的则是犹如芒刺在背的不适应。

苏童《另一种妇女生活》

[彼女は少し不安でちょっとうれしかったが、さらに強く感じていたのは、背中にどげ刺さっているような落ち着かない気持ちであった。]

- (16) 伍次友颇有点丈二和尚摸不着头脑，…… 二月河《康熙大帝》

[伍次友はちょっと訳がわからなくなってきた、…]

- (17) 他看到我的表情，好像有点知道我的心事，…… 於梨华《梦回青河》

[彼は私の表情を見て、私の悩みを少しわかったようだった。]

- (18) 那老教师听了，似乎有点佩服，便问道：…… 民国・钟毓龙《上古秘史》

[その年寄りの先生はそれを聞くと、ちょっと敬服したように尋ねた。]

例(15)～例(18)に挙げるように“有点”と共起する心理動詞のうち、例(15)の“惶惑”と例(16)の心理を表す動詞フレーズ(慣用句)“丈二摸不着头脑”は消極的意味の語であるが、例(15)の“惊喜”と例(17)の“知道”は消極的な意味の語とは捉えにくい。また、例(18)の“佩服”は積極的な意味を持つ語である。

心理動詞のほかに“有点”と共起することのできる動詞には、“像”、“相像”、“相似”、“相同”、“类似”、“相通”などの語が挙げられる。これらの語は上記の心理動詞と同様、動作動詞ではない。

- (19) 因为他的脸孔同走掉的王成山有点相似，陶菊生立刻对他发生了好感。

姚雪垠《长夜》

[彼の顔は去っていった王成山とちょっと似ていたため、陶菊生はすぐ彼に好感を持つようになった。]

謝 平

(20) 它的味道诱人，的确有点类似藕的甜味但更多的是从没闻过的香味。

莫言《酒神》

[その味は人をひきつける力があり、確かにレンコンの甘みとちょっと似ているが、さらに嗅いだことのない香りがある。]

また、“有点”は普段と異なる状態を表す動詞、「身体の異常を表す動詞」⁸との共起も可能である。この場合、普段の身体状態と異なることを表すため、マイナス面の情報が多い。

(21) 而且骨瘦如柴，还有点咳嗽，不是肺病是啥？ 柏杨《剥掉伪装之功》

[しかも骨と皮ばかりにやせこけているし、咳もちょっと出る。肺炎じゃなければなんなのか。]

(22) 可是他跟着又说，“我有点头晕，可能昨晚中点煤气……不过现在好了。”

冯骥才《啊！》

[しかし、彼はまた続けて言った。「ちょっと眩暈がする。昨晚ちょっとガスに当たってしまって…でも、今はもう良くなったよ。』]

身体の異常を表す動詞には、例(21)、(22)のほかに、“哆嗦”、“头疼”、“发烧”、“发抖”、“哽咽”、“发胖”、“发炎”などが挙げられる。

“有点”は次の例(23)のように語自体が変化を表す動詞と共起することも可能である。これについては马真(2004)、张谊生(2004)にも同様の指摘がある。

(23) 有点增加 [ちょっと増える]

有点变形 [ちょっと変形する]

有点减少 [ちょっと減る]

有点提高 [ちょっとアップする]

2.2.2 “有点”と状態形容詞

従来の研究では、程度副詞“有点”が形容詞と共起する場合、性質形容詞のみが用いられると指摘されてきたが、状態形容詞と共起する例も多く見られる。以下、朱德熙

⁸ 王聰(1993: 42)は、“有点”と共起する身体の異常を表す動詞について“描写病状的词语”としている。また、张谊生(2004: 74-75)はこれらの「身体の異常」を“生理失常”(“咳嗽”など)、“活动动词”(“颤动”など)“发生变化”(“发困”など)の三種類に分類しているが、いずれも生理的「異常」を表すことから、本稿では、これらの語を「身体の異常を表す動詞」と呼ぶこととする。

(1956)の状態形容詞の分類⁹に従い、“有点”と状態形容詞の共起について考察する。

(I)“重叠式”類

“重叠式”の場合、“*有点红红”のように“有点 AA”は成立しないが、例(24)のように“AA 的”型は“有点”と共起することが可能である。¹⁰

- (24) “用不着试。”心里想到刚才试穿的情形，脸颊上有点红红的，他对茶房说，
“我的布鞋呢？你给我拿来。” 周而复《上海的早晨》
[「試着する必要はない。」彼は先ほど試着した場面を思い出して、頬がちよっと赤くなり、雑用係に言った。「私の布靴は？持ってきてください。」]

また、次の例(25)のように“X 里 XY”型も成立する。

- (25) 在周刊上，看了几个阿 Q 像，我觉得太特别，有点古里古怪。
鲁迅《且介亭杂文·寄〈戏〉刊编者信》
[週刊誌でいくつかの阿 Q 像を見たが、突飛すぎて、なんだかちよっと変に思った。]

(II)“带后加成分的形容词”類

次の例(26a)～例(26c)のように、“带后加成分的形容词”も“有点”との共起が可能である。

- (26) a. 小极了的风，只有有汗的地方觉得有点儿凉嗖嗖的。
张欣欣《我们这个年纪的梦》
[風はごくわずかだった。汗をかいたところだけがちよっと冷たく感じた。]
b. 只觉得人家竟这样欢迎和需要自己，心中有点热乎乎的。(CCL 语料库)
[皆さんにこんなに歓迎されて、自分が必要とされていると思ったら、心がち

⁹ 朱德熙(1956:3-5)は状態形容詞を次の四類に分類している。

- (1) 重叠式 (XX, 例えば“大大”; X 里 XY, 例えば“古里古怪”など)
- (2) 带后加成分的形容词 (“热乎乎”、“灰不溜秋”、“可怜巴巴”など)
- (3) “雪白、冰凉、通红、鲜红、黧黑、喷香、粉碎、稀烂、贼亮、精光”一类形容词
- (4) 以形容词为中心构成的词组 (“很大”、“又高又大”など)

本稿では(3)を“‘雪白’一类形容词”類と呼ぶこととする。

¹⁰ “有点+AA 的”については他にも多くの例が見られる。

- (1) 他走到门口，忽然觉得她有点楞楞的，便又站住了望着她道：…… 张爱玲《多少恨》
- (2) 只有锦儿由于暗香突然高升，难免有点儿酸酸的，…… 林语堂《京华烟云》

よつと熱くなった。]

c. 贝蒂大娘说得有点可怜巴巴。 (CCL 语料库)

[ベティおばさんはちょっと可哀そうな様子で言った。]

以上の例から、(I)類と(II)類では共に、心理状態或いは対象の性状や状態を描写する際に“有点”が用いられることがわかる。例えば例(24)は試着の場面を思い出した時に恥ずかしく思うという心理状態を描写しており、また例(25)、例(26a)、例(26b)についても“有点”を用いる状態形容詞フレーズの前に“觉得”があり、いずれも繊細な心理状態を表している。そのような心理状態に対し、“有点”はその状態形容詞が示す状態に完全には至っていないことを表す役割を担っている。

(III) “‘霎白’一类形容词”類

従来、“‘霎白’一类形容词”類に属す“比喻型”状態形容詞¹¹と“有点”は共起しないことが指摘されている(胡振刚2002、大島2004などを参照)。しかし、例(27a)、例(27b)の“灰白”、“冰凉”などのように“有点”と共起する例もある。

(27) a. 我身不由主的摸摸自己有点灰白的鬓边，…… 於梨华《梦回清河》

[私は思わず少し白髪混じりの鬢をなでた。]

b. 小S森有点冰凉地躺在萍萍身边。 赵玫《朗园》

[小S森は萍萍のそばにちょっと冷たくなって横たわっている。]

また、インターネットによる検索では、“有点漆黑”、“有点笔直”、“有点雪白”のような“比喻型”状態形容詞と“有点”の共起例や、“有点煞白”、“有点通红”、“有点贼亮”などの使用例も見られる。¹²

(IV) “以形容词为中心构成的词组”類

次の例(28a)のように“以形容词为中心构成的词组”類の“很+形容词”は“有点”と共

¹¹ 状態形容詞“漆黑”、“冰凉”の本来の意味はそれぞれ“像漆一样黑”、“像冰一样凉”であり、胡振刚(2002:43)は、これらの状態形容詞を“比喻型状态形容词”とし、次のような具体例を取り上げ、“有点”とは共起しないと指摘している。

*街上有有点漆黑，看不清路标。

*我摸了一下，她的手有点冰凉。

¹² 次の例は“有点”と“‘霎白’一类形容词”が共起する例である。

(1) 春亭这时才走下车来，脸还有点煞白，显见受惊不小。 郝树声《镇委书记》

(2) 可能是天气太热的缘故，朱广沪的双脸晒得有点通红了。 人民网

(3) 只剩了两只眼珠，还是有点“贼亮”。 王蒙《名医梁有志传奇》

起しない。しかし、例(28b)のように“太+形容詞”は“有点”と共起し、予想外或いは不満などの心情を表す。また、例(28c)のような“又A又B”のような状態形容詞も“有点”と共起する。

- (28) a. *有点很漂亮
 b. 她打算去找玉生谈判, 又觉着事情发展得总有点太快。赵树理《三里湾》
 [彼女は玉生と交渉するつもりがあるが、この件の展開が早すぎるとも思っていた。]
 c. 每次见到她, 总是有点又惊又喜。 亦舒《一个小梦》
 [彼女に会うたび、私はいつもちょっと驚き、ちょっと嬉しく思う。]

以上の考察から、“有点”は性質形容詞以外にも、朱德熙(1956)による状態形容詞の分類のうち、(IV)類の“很+形容詞”以外の状態形容詞との共起が可能であることがわかる。“有点”が付加されることにより、状態形容詞の示す状態に近い、或いはその状態にまだ完全には至っていないことを表すことから成立が可能となると考えられる。

3. 「ちょっと」と“有点”のモダリティの意味

「ちょっと」は、形容詞、擬態語、心理動詞、状態を表す動詞(或いは動詞フレーズ)などと共起する場合、対象の状態の程度を表す。また、「ちょっと」は低い程度を表すだけでなく、「かなり、相当」など高い程度を表す場合もある。これについて、『新明解国語辞典』では「平均水準を超えていて、無視は出来ない程度であることを表わす」と説明されている。¹³ このように、「ちょっと」には多義性が存在すると先行研究¹⁴では指摘されてきたが、一方で、藤原(2006:69)は「その程度が小さいか大きいかを問うても、確定することは実はできない。」と述べている。秋田(2005:86)も「『ちょっと』の使用が、少量・小程度を伝達しようと思っているのか、そうではないのか、すなわち、現実場面と文の意味が同じなのかどうかは一文や作例の中では言及できない」と指摘している。

¹³ 『新明解国語辞典』(三省堂出版社, 第五版)は次の例を挙げ、「ちょっと」に対し、多義的解釈が可能であることを説明している。

- (1)君にはちょっと(=少しばかり)難しい
- (2)ちょっと(=かなり)夏目漱石に似ている
- (3)ちょっと(=相当)手ごわい相手
- (4)ちょっと(=大変)珍しいものをお目にかけましょう

¹⁴ 岡本・斉藤(2004)、彭飛(2004)、藤原(2006)などを参照。

謝 平

一方、中国語の“有点”については従来“程度不深”を表すと定義されているが、実際には、“那个人有点讨厌。”の“有点”のように、日本語の「ちょっと」と同様、「高い程度」を表すと考えられる用法も見られる。それでは、「ちょっと」と“有点”には意味用法の違いがあるのだろうか。以下、発話・伝達のモダリティを表す「勧誘・要求」、「願望・意志」、「判断・評価」、「描写・叙述」における「ちょっと」と“有点”の表す程度について考察する。

3.1 勧誘・要求

「勧誘・要求」のモダリティを表す文には「勧誘」、「依頼」、「命令」の三つのタイプがある。次の例(29)と例(30)はそれぞれ日本語と中国語の勧誘文(a)、依頼文(b)、命令文(c)である。いずれも話し手が聞き手に動作を促すモダリティを含んでいる。

- (29) a. それならちょっと行きましょう！と誘って頂いたのが… (Google)
b. 「織田さんがちょっと来て下さいって…」 宮本百合子「墓」
c. 此方へ入らんで何をしているのか、用があるからちょっと来い！
国木田独歩「富岡先生」
- (30) a. (*有点)一起去吧！一个人留在家里也寂寞。 严沁《寻》
b. 宝珍,你跟我(*有点)来一下,我有话对你说。 於梨华《梦回青河》
c. 别讨厌了,(*有点)快去玩去! 高行健《有只鸽子叫红唇》

「ちょっと」は本来動作量、時間量が少ないことを表すが、実際には「かなり」の時間がかかる場合もありうる。また、例(29b)の「ちょっと来て下さい」は動作・時間の少量を表すだけでなく、「ちょっと」を加えることにより、聞き手に対する負担を軽減するなど、語気を和らげる役割も担っている。一方、“有点”の場合は、そもそも動作動詞と共起しないため、例(30)のように聞き手に行為の遂行をさせる「勧誘・要求」のモダリティを表す文には用いられない。

3.2 描写・叙述

「描写・叙述」¹⁵は出来事や対象の性状、状態などを客観的に描写・叙述するものであ

¹⁵ 本稿の「描写・叙述」は仁田(1989)で定義された「現象描写文」に相当する。仁田(1989:19)は「現象描写文とは、話し手の視覚や聴覚等を通して捉えられたある時空の元に存在する現象を、現象の存在への確認は有しているものの、主観の加工を加えないで言語表現化して述べたものである。」と述べている。

る。出来事を叙述する場合、動作動詞を用いることが多い。次の例(31a)は事柄を客観的に述べる現象描写文である。

- (31) a. あきらめて玄関の式台に腰をおろし、便箋にちょっと書いた。
太宰治「正義と微笑」
b. 我只好作罢在门口的地板上坐下, (*有点)写了会儿信。(筆者による訳)

2.2.1で考察したように“有点”にはこのような用法はないため、例(31b)は非文となるが、例(31a)の「ちょっと」は動作動詞を修飾して、動作あるいは時間の少量を表している。しかし、次の例のように必ずしも程度だけを表すとは限らない場合もある。

- (32) 今日はねー、姉ちゃんがちょっと入院しちゃってね。いろいろ大変でした。
(Google)

例(32)の「ちょっと」は、「入院する」ことに対する時間的程度を表すと捉えるよりも、口調を和らげ、単なる軽い気持ちを表す表現であると捉える方が自然である。

また、ある対象の性状などを客観的に描写・叙述しようとする際、話し手は「少しばかり」という低い程度を表す本来の意味で、「ちょっと」と“有点”を用いる場合が多い。例(33a)と(33b)はそれぞれ日本語と中国語の描写文である。

- (33) a. 花の大きさは2～3cm。ちょっと緑がかった白のカップ咲き。(Google)
b. 她的眼睛很大，眼珠不是黑色，也不是蓝色，有点绿，半透明。
周德东《天惶惶地惶惶》
[彼女は目がぱっちりしていて、目の色は黒でもなく、ブルーでもない。
ちょっと緑を帯び、半透明である。]

例(33)のように話し手の好き嫌いなどの主観的なものと関係なく、対象の性状を客観的に描写・叙述しようとする場合、「ちょっと」と“有点”は共に「わずか、ほんの少し」などの低い程度のみを表すと考えられる。

3.3 願望・意志

「願望・意志」¹⁶は主観性の強いモダリティである。本稿では“想”[～したい]、“希望”

¹⁶ 同じ文中に「願望・意志」と「判断・評価」が同時に出てくる可能性があるが、どちらの語とかわるかわるによって、「ちょっと」と“有点”のモダリティを判断する。例えば、「彼はちょっとうるさいと思う」という例では、「ちょっと」は「うるさい」に係り、「判断・評価」のモダリティを表すが、「彼の他の作品も読んでみたいなどちょっと思った」という例では「ちょっと」が「思う」に係り、「願望・意志」を表している。

謝 平

[～してほしい]などのような願望や“觉得”[～と思う]、“打算”[～するつもり]などのような意向を表すモダリティを「願望・意志」とする。「～してほしい」のような願望を表すモダリティは「勧誘・要求」に似ているが、あくまでも話し手の希望であり、聞き手に強く遂行させる情意がないことが特徴である。

- (34) a. まだ行ったこと無いです、ちょっと行ってみたいな。 (Google)
b. 実際どんな感じなのか、読んだあとに秋葉原の街に、ちょっと遊びに来てほしいな。 (Google)
c. もしかしたらやっぱりこれも憧れだったのかなあってちょっと思ったけど、… (Google)

例(34a)と例(34b)のように、「ちょっと」は「行って」と「みたい」、「来て」と「ほしい」どちらにも係る可能性があるが、「～したい」、「～ほしい」に係る場合、願望のモダリティを表している。しかし、この場合の「ちょっと」は「少しばかり」という低い程度を表すのか、或いは「かなり」、「とても」などの高い程度を表しているのか曖昧である。また、この場合の「ちょっと」は程度などとかかわりなく、単なる軽い気持ちを表しているとも考えることもできる。

一方、次の例(35)の“有点”は動作動詞とは共起しないことから、「願望・意志」を表すことがわかる。この場合、基本的には「少しばかり」の程度を表すが、「とても」という高い程度を婉曲的に表現することも可能である。

- (35) a. 我有点想搬家，眼不见为净。 亦舒《阿玉和阿瓦》
[私はちょっと引越したくなった。見えないほうがいいから。]
b. 现在她倒是有点希望忽然得到WR的生父早已不在人世的证明了，…… 史铁生《务虚笔记》
[今彼女は逆に突然WRの父親がとつくにこの世にいないという証明をちょっと得たくなった。]
c. 我高兴地接过来，朝他抱歉地笑笑，有点觉得自己很煞风景。 於梨华《梦回清河》
[私はうれしく受け取り、すまないと思って彼に笑いかけた。ちょっときまり悪く思った。]

以上の考察から、主観性の強い「願望・意志」を表す場合、「ちょっと」と“有点”は共に「低い程度」を表す以外にも、「高い程度」を表す場合もあることがわかる。また、相手に[～してほしい]などの強い願望を述べる時、「ちょっと」や“有点”を用いて口調を和らげ

る機能もあることがわかる。

3.4 判断・評価

ある対象或いは事柄に対する判断と評価をする場合、主観的な要素が著しくなる。物事に対して、直接良し悪しを表す語と共起し、判断・評価する場合の「ちょっと」が表す程度について、岡本・斉藤(2004:67-68)は、話し手の「プラス評価の思い込み」¹⁷があれば、「量が少ない、程度が低い」という意味で使われており、被修飾語がマイナス的な意味を持っているとき、話し手はその語のマイナス度を強化した「かなり」と同様の思い込みを持っていることになると指摘している。

- (36) a. しかし、砂糖入れすぎってしまったためか、ちょっと甘い。 (Google)
 b. 味道很好，就是有点甜了。 (Google)
 [味はよかった。ただちょっと甘い。]

例(36)の「ちょっと」と“有点”とも甘さの程度における「判断・評価」のモダリティを表しており、共に意にそわないというマイナスのモダリティを表すことから、「かなり甘い」或いは「ちょっと甘すぎる」という意味に捉えられる。しかし、岡本・斉藤(2004)の説明では解釈できない用例も多く見られる。

- (37) a. そこにある小さな公園に植えられている木がちょっときれいだったので、寄り道してしまいました。 (Google)
 b. 食べたことがある方は分かると思いますが、これ！ちょっとおいしいんですよ。 (Google)

プラスの意味の語を用いて、良いと判断・評価をする場合、「ちょっと」の表す程度はコンテキストによって異なると考えられる。例(37a)の「ちょっと」は「少しばかり」という低い程度を表すことも可能であるが、文中に「寄り道してしまいました」とあるように、その木に強く惹きつけられていることから、話し手は「かなりきれい」だと判断・評価している可能性もある。例(37b)も同様に、話し手の口調や表情などにより、文中の「ちょっと」は強く勧める気持ちで用いられ、「かなりおいしい」という意味に捉えられる可能性が高い。

¹⁷ 但し、岡本・斉藤(2004:68)は「あの店、ちょっと素敵だね。」「新郎、ちょっとハンサムね」のような例の「ちょっと」は「かなり」と同等になることはまれであると指摘している。また、話し手や聞き手が持つ語の価値基準や、話し手の思い込みによって、「ちょっと」の意味は「少し」になる場合と「かなり・けっこう」になる場合があるとも述べている。

同様に良くないことを判断・評価する場合、「ちょっと」も文脈により、「すこしばかり」という低い程度を表す場合もあれば、高い程度に捉えられる場合もある。

- (38) a. ちょっとうるさいので、せめて10時以降は走り回らないようにお子さんに注意してもらえませんか？ (Google)
b. ちょっとうるさいけれども、しかし、正直なところもあって、僕は、そんなにきらいでないんです。 太宰治「惜別」

例(38a)は文脈から、話し手にとって、そのうるさはかなり高い程度であることが想定されるが、「ちょっと」をつけることによって、不満や怒りなどを和らげて聞き手に伝えていと考えられる。一方、例(38b)の「ちょっと」は「かなりうるさい」というような高い程度を表す可能性もあるが、「少しうるさい」という低い程度と判断していることも考えられうる。したがって、「ちょっと」の表す程度は、後置する語がプラスの意味の語であるかマイナスの意味の語であるかと必ずしもかわりをもつものではないといえよう。

一方、“有点”はプラスの意味を表す語との共起に制限があるため、“有点”とプラスの意味の語と共起して評価を表すことは少ない。例えば、次の例(39a)は例(37a)に対応する中国語であるが、“有点”とした場合、若干の違和感があることは否めない。

- (37) a. そこにある小さな公園に植えられている木がちょっときれいだったので、寄り道してしまいました。 (再掲)
(39) a. 那儿有一个小公园儿，公园里种着的树 {相当/?有点} 漂亮，于是顺便去看了看。 (筆者による訳)
b. 以前啊，你还真有点漂亮，现在呢，是越来越有味道了。 (Google)
[昔の君はちょっときれいだったが、今は、ますます上品になってきた。]

例(39b)は文脈に“現在”という対照的な参照点が存在するため、“有点”を用いて“以前”の様子について判断・評価する場合、その“有点”がプラスの意味の語と共起することが可能となるが、この時の“有点”は必ずしも「少しばかり」という低い程度を表すとは限らない。また、次の例(40)のように、“有点”はマイナスの意味の語と共起する場合も、文脈により表す程度が異なると考えられる。

- (40) a. 那个人有点讨厌。
[あの人ちよつといやだね。]
b. 让人偶而有点讨厌却又禁不住轻轻摇头微笑。园心《阳光灿烂的日子》

[たまにいやに思うこともあるが、思わず頭を横にふりながら笑ってしまう。]

確かに、例(40a)のように話し手が“有点讨厌”を発話する場合、「かなり嫌」という心情を表す可能性が高いが、例(40b)は文中に“偶而”や“却”、“又”などの語があることから、“有点”は「少しばかり」という低い程度を表す可能性が高い。

つまり、主観性の強い「判断・評価」をする場合、「願望・意志」と同様に、発話の場面や文脈によって、「ちょっと」と“有点”は高い程度を表す場合もあれば、低い程度を表す場合もある。

4. おわりに

日本語の「ちょっと」は動作動詞と共起する場合、動作量・時間量が少ないことを表し、非動作動詞や形容詞と共起する場合、対象の性状や状態などの程度を表す。「ちょっと」は動詞・形容詞と共起しうるのに対し、中国語の“有点”は動作動詞と共起することはできない。また、「ちょっと」が動詞や形容詞と共起する場合、感情的色彩においては共起制限がないと考えられる。一方、“有点”は中性的・マイナスの意味を持つ性質形容詞・心理動詞としか共起しないと先行研究では指摘されてきたが、実際にはプラスの意味の語とも共起し、一部の動詞と状態形容詞とも共起する。

「勧誘・要求」、「願望・意志」、「判断・評価」などのモダリティを表す場合、「ちょっと」の表す程度は低い場合もあれば、高い場合もある。中でもとりわけ「願望・意志」、「判断・評価」などの主観性の強いモダリティを表す場合、「ちょっと」がどの程度を表すかは文脈に依存している。しかし、客観的に「描写・叙述」しようとする際、「ちょっと」は「少しばかり」という低い程度の意味で用いられると考えられる。

一方、“有点”は「勧誘・要求」のモダリティを表すことができない。また、従来“有点”は“程度浅”という意味を表すと指摘されてきたが、考察の結果、“有点”は日本語の「ちょっと」と同様、客観的に「描写・叙述」をする場合は、“程度浅”を表すが、主観性の強い「願望・意志」、「判断・評価」を表す場合、低い程度だけではなく、高い程度表すことも可能であることが明らかになった。

主要参考文献:

- 秋田恵美子(2005)「現代日本語の「ちょっと」について」『創価大学別科』17号
- 大島吉郎(2004)「対話文中における“有点儿”の機能」『語学教育研究論叢』3号
大東文化大学語学教育研究所
- 岡本佐智子・斉藤シゲミ(2004)「日本語副詞「ちょっと」における多義性と機能」『北海道文教大学論集』3号
- 工藤 浩(1983)「程度副詞をめぐって」『副用語の研究』明治書院
- 胡振刚(2002)「中国語“有点(儿)”と“一点(儿)”について」『比較文化研究』56号
日本比較文化学会
- 仁田義雄(1989)「現代日本語のモダリティの体系と構造」『日本語のモダリティ』
くろしお出版
- 藤原浩史(2006)「副詞「ちょっと」の意味構造」『国文目白』第四十四号
- 彭 飛(2004)『日本語の「配慮表現」に関する研究』和泉書院
- 范 晓、杜高印、陈光磊(1987)《汉语动词概述》上海教育出版社
- 胡裕树、范晓主编(1995)《动词研究》河南大学出版社
- 马 真(2004)《现代汉语虚词研究方法论》商务印书馆
- 王 聪(1993)〈关于“有点儿”修饰动词结构及其他〉『桜美林大学中国文学論叢』3号
- 张谊生(2004)《现代汉语副词探索》学林出版社
- 周小兵(2002)《汉语第二语言教学语法的特点》中山大学学报 6期
- 朱德熙(1956)〈现代汉语形容词研究〉《语言研究》第一期